

(12) 瀬田東小学校体力向上の取り組み

(12) 瀬田東小学校体力向上の取り組み

① 鬼遊びと体育の授業

児童が大好きな遊びと体育の授業をつなげることができれば、運動に関わりたくなる児童が増えると考えている。中でも「鬼あそび」はどの児童にとっても好きな遊びの一つに挙げられる。鬼遊びには、瞬発力・判断力・持久力など、運動を行う上で必要な要素が含まれている。本校の体育科年間計画では、ゲーム領域、ボール運動領域で、鬼遊びをベースとしたものを重点教材としている。

また、走・跳の運動遊び領域、走・跳運動領域、陸上運動領域においてもリレー遊びや周回リレーの予備運動として、「ネコ-ネズミ」や「シャトルしっぽ取り」など、「追う-追われる」感覚を養う鬼遊びを必ず取り入れている。

② タグラグビー部の活躍

平成22年度から、タグラグビークラブを設置している。平成23年度に、体育科年間計画にタグラグビーを位置づけた。授業で取り組むことで、より多くの児童がタグラグビーの魅力を感じ、休み時間や放課後にタグラグビーや鬼遊びをしている児童が増えた。また、平成25年度から「全国小学生タグラグビー大会」へ出場しており、5度も近畿大会に出場するまでの力をつけている。これは、クラブの時間だけでなく、休み時間や放課後に子どもたちが自主的に練習を重ね、楽しみながら力をつけてきた成果である



(12) 瀬田東小学校体力向上の取り組み

③ 東小スポーツふれあいフェスティバルの開催

平成29年度から東小スポーツふれあいフェスティバル(以下、東スポ)を開催している。東スポは、年間を通して児童が運動に関わることを得点化し、たてわりの各色で競い合うという仕組みである。東スポは、児童の体力向上、そして色別でチームを作ることによって、異学年で互いに励まし合ったり競い合ったりして交流を深め、意欲的に運動することを目的としている。

東スポで得点化する内容は「体育の宿題」「運動教室」「東オリンピック」「大縄大会」である。体育の宿題は、1カ月毎日取り組んできた児童に2ポイントの得点とした。運動教室、ヒガオリンピック、大縄大会は、参加した児童に1ポイントの得点とした。

東スポの得点は、昇降口に掲示している。(写真3)児童が毎日各色の得点を目にするので、普段から東スポのことを意識することができる。また、スポーツセンター委員会が、毎月上位のクラスを放送で発表したり、賞状を送ったり終業式に学期1位の色を表彰したりすることで児童の意欲向上につなげている。

